

FM.クマガヤ株式会社 第9回番組審議会議事録

1 開催年月日 令和3年4月27日(火)13時00分～14時00分

2 開催場所 和とう 肥塚店

3 委員出席

委員総数 5名

出席委員数 5名

出席委員 長谷川 隆一

内田 百合子

小林 義治

廣瀬 俊明

山下 祐樹

放送事業者側出席者 宇野 元英

高井 昭博

4 議題

(1) 審議番組の放送内容について

(2) 次回の開催日程

(3) その他

5 議事の概要

放送及び、局全般についての意見を求めた。

6 審議内容

(1) 審議番組の放送内容について

審議番組

番組名 「身体が不自由な子どもたちの暮らし×地域にある社会資源～在宅の身体
障害児とその家族の生活に関するアンケート調査報告会～」の事前番組

放送日 2月14日(火)14時00分～14時54分

ゲスト NPO にじいろ代表理事 牛頭智子様、副理事 砂埜典子様、
熊谷市長 富岡清様

担当パーソナリティ 新井弘美

- (委員) 重たいテーマでありながらも明るいのが凄く良かった。ただ、事前番組とはいえ、いくつかアンケートを取り上げたほうが良かったとも思った。
- (委員) これを機会にこういった団体があるということを知っていただきたいと思ったし、こういった番組をやることで「市民協働事業」という制度の周知に繋がると思った。
- (委員) 私もそう思った。前々から、いつも同じような方々しか市民協働事業の制度を活用していないと感じており、もっと幅広く皆さんに活用していただくきっかけとなればと思う。
- (委員) 行政では取り組むのが難しい事業を市民の方々と協働で取り組むというこの事業の課題は発信力の弱さだったので、FM クマガヤで取り上げてもらえて良かった。また、今後も定期的に報告してもらえたらと思う。
- (委員) イベントの「無観客開催」という事態を逆手にとり、事前番組、当日のサテライト生放送、後日、市のホームページでYouTube 動画の公開といった連動性もあって、凄く良い取り組みだと思った。
- (事業者) 牛頭代表には以前、違う番組にも御出演いただいたことがあり、そのことが今回の取り組みにも繋がったと思う。
- (委員) 御出演されているお二人（牛頭氏・砂埜氏）も場慣れしていて、トークの掛け合いも上手く聴きやすかった。また、今回、専門家のゲストの方が急遽お休みだったとのことで、その方がいればもっと深掘りできたのかなとも思った。身体が不自由な子どもを持つ御家族と普段接していないので、勝手に大変なんだろうなと思っていただけだったが、それぞれの家庭の在り方・幸せの感じ方があると改めて思えたので、関係者でない方が聴いても共感できる番組に仕上がっていると思った。
- (事業者) 実は、度重なる打ち合わせをして本番に臨んだのもあり、良い雰囲気のできた。
- (委員) 団体の皆様にはこれまでいろいろな思いがあったんだろうなと思った。最後の手記を聴いて涙が溢れ、番組には入り込めた。
- (事業者) 明るく振る舞う裏には大変な苦労もあったと思うし、だからこそその強さだと思う。
- (委員) パーソナリティの新井さんによる手記の朗読が非常に良かった。
- (事業者) 自身にもお子さんがいるということもあり、思い入れのあるものとなったと思う。

(2) 次回の開催日程

7月下旬を予定。

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

審議番組の制作会議を実施し、番組構成の協議を行った。(令和3年5月4日)

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

①自社放送

②自社ホームページ(<https://fmkumagaya.com>)への掲載

③事務所への据え置き

公表の内容

審議内容の要約

9 その他参考事項

特になし。